

TTC 提案山行実施記録表(前掛山)

2011年6月8日 報告者:菊地友弥

山行名	浅間連峰・前掛山 (長野県 2524m)			
実施日	2011年6月4日～5日(土、日曜日)			
天候/参加人員	天候:晴れ レベル:★★☆ 参加人員: 15名(男4名/女11名)			
パーティスタッフ	氏名削除			
参加メンバー	A班 氏名削除 B班 氏名削除 C班 氏名削除			
費用 一人あたり 19,200円	会費 19200円×15=288000円 支出 燃料代 10800円 ドライバー謝礼 38000円 高速道料金(5700+4800)=10500円 懐古園駐車料 500円 懐古園入園料 500×15=7500円 宿泊料金 8200×16=131200円 飲み物 4200円 浅間山荘駐車場料金 1500円 カンパ金 2880円 支出合計 288000円			
6/5 前掛山	行動時間	歩行時間	休憩時間	下見山行(無)
ガイドブック上		6:25		行動時間比(実行/計画) 1.08
計画	8:00	6:35	1:25	歩行時間比(実行/計画) 1.05
実行	8:40	6:55	1:45	" (実行/ガイドブック) 1.09
過去の実行データ	7:57	6:20	1:37	2007.6.10(天候:雨/曇、17名)
実行タイム記録				
◆6/04(土)天候:晴れ [小諸懐古園観光、高峰山ハイキング標高差134m、歩行距離3.2km]				
ヨ一カドウ前==林、及川中原、新宿==鳶尾==相模湖 IC==八王子 JC==狭山 SA==鶴ヶ島 JC				
8:00 8:40 9:31 9:40 10:02 10:12 10:20				
0:40 0:40				
==藤岡 JC==小諸 IC==懐古園遊子亭-----懐古園見学==高峰高原-----高峯山-----高峰高原				
11:04 12:20 12:35 13:10 13:15 14:30 15:00 15:40 15:50 16:30 16:45				
==ペンション「スターダスト」(宿泊) 夕食 18:30 就寝 21:00頃				
17:15				
◆6/05(日)天候:晴れ [浅間山前掛山登山:累積標高差(登り/下りとも)1150m、歩行距離13km]				
0:58 0:08 0:56 0:07 0:28 0:55				
ペンション==浅間山荘P-----不動の滝-----薪置き場-----火山館-----Jバンド分岐-----第一ケルン-----				
5:45 6:05 6:15 7:13 7:15 7:23 7:28 8:22 8:36 8:52 9:20 9:25				
0:20 0:16 0:39 0:16 0:14 (昼食) 0:50				
シェルタ-----前掛山山頂-----シェルタ-----第一ケルン-----Jバンド分岐-----火山館-----薪置き場				
10:20 10:35 10:55 11:00 11:16 11:55 12:00 12:16 12:30 13:10 14:00 14:05				
0:52				
-----浅間山荘==小諸 IC==佐久平 SA==上里 SA==鶴ヶ島 JC==八王子 JC==相模湖 IC==厚木				
14:56 15:15 15:40 17:15 17:45 19:02 19:32 19:40 20:30				
概要、特記事項、反省事項等				
<p>例年よりも2週間も速く梅雨入り宣言が出て山行前は鬱陶しい梅雨空が続いた、更新される天気予報を一喜一憂しながら見ていたが3日前の予報は降雨確立30パーセントに好転した。メンバーに山行決行のメールを発信した。</p>				

6月4日(土) 懐古園見学、高峰山ハイキング

- いつもの時間よりも遅い 8:00 の出発時間だったが財布を持たずにいたメンバーが取りに戻り 15 分ほど遅れるちょっとしたアクシデントがあった。高速道路は関越道に入って所々で渋滞があったがほぼ定刻に小諸インターを降り懐古園の駐車場に迷うことなく到着した。小諸に来たなら蕎麦を食べずばなるまいというメンバーのリクエストで高速道 SA での昼食をやめ懐古園前の蕎麦の老舗「草笛」にバスの中から予約をしたが満席で姉妹店の「遊子亭」で蕎麦を食べる。摺った胡桃の実が入った甘い垂れでいただくボリュームのある蕎麦だった。懐古園の無料ガイドを事前に頼んでおいたので食事が終わるとすぐに年配の女性ガイドさんに 1 時間半ほどかけて園内を案内していただいた。苔むした石垣や新緑の樹木が心を癒し 2 度目の人もガイド付きの見学は新鮮で好評だったようだ。
- 見学を終えて高峰高原に移動、高度が上がっていくに連れ、車窓から見る唐松の新緑の色合いが少しずつ変化していく、初夏のさわやかな高原の景色に心も晴れやかになる。車坂峠のビジターセンターの前から高峰山に登る。往復 1 時間 40 分ほどの行程で本番前の足慣らしにちょうど良いハイキングだ。山ツツジやシャクナゲの花も咲き始め、芽吹いてわずかの唐松や雪の重みに耐えて蛇のように枝を張ったダケカンバを見ながらのんびり空身のハイキングだった。
- ペンション「スターダスト」は高峰高原からバスで戻って 20 分くらいの距離にある。建物もまだ新しく、清潔だった、男性 4 人は 8 畳の和室だが女性は 2 人部屋の洋室でトイレ、バス付きのゆったりした部屋である。その日は貸切だったこともあり気兼ねなく利用できた。夕食もペンションらしい華やかな献立で女性にはたいへん好評だった。夕食後ダイニングルームは歌声喫茶に変わった。

6月5日(日) 浅間山・前掛山登山

- 朝食を摂りおにぎりを貰って 6 時前にペンションを出る。登山口の浅間山荘はバスで 20 分の移動、距離である。天気はまずまず、薄もやの掛かった林道を走る。山荘の前で体操をすませ、ペースメーカーはサブリーダーの S・Y さんにおまかせ、CL は最後尾に連なって鳥居をくぐり 6:15 分に出発した。硫黄のにおいがする谷川を眺めながら登山道を辿る。しばらく緩やかな道幅の広い登りが続いて一の鳥居に出る。登山道は谷川を挟んで右と左に分かれるが大滝の前で合流する。右側の道を SL は選んだ。薄紫のミツバツツジの花が緑の木陰から垣間見られる。大滝を越え谷川から離れた山道に入ると薪を積み上げた場所に出る。火山館に運んでくださいという看板がある。心優しい TTC メンバーは CL を除いて全員が 1~2 本ザックにくくりつけ、運搬に協力した。樹木がまばらになり視界が開けた笹原のカモシカ平にでると薄日が差すようになって黒斑山や牙山の山頂が見え隠れする。登山道の周りにギョウジャニンニクを見つけて W・E さんが教えてくれる。葉を一枚抜き取って嚙ってみるとまさしくニンニクの香りと味がする。貴重な植物と聞いていたが群生しているのには驚いた。8 時 20 分火山館に到着、10 分ほど休憩して出発、J バンドの分岐を過ぎると登山道は火山岩のガレ場に変わり勾配もきつくなって息も苦しくなる。ケルンのある場所で K・F さんからリタイヤの申し出があった。かなり辛そうである。天気も良く風も穏やかなので待機するという、登山者の往来もあるので一人で行動しないように注意して出発するが、Y・M さんから 4 年前に山頂を踏んでいるので一緒に火山館へ戻るという申し出があり有り難く好意を受ける事にした。山頂までは標高差 300m を残す急勾配の道で、誰もが弱音を吐きたくなる正念場でもある。前掛山分岐点、シェルターのある場所にあえぎながら到着、荒涼とした浅間山の山頂が前掛山の山頂と同じ高さに見える。登山禁止の看板を無視して登っている登山者が見えた。小腹を満たしてから最後の登りに掛かる。前掛山と浅間山の間にカルデラがあり残雪が前掛山の切り立った壁にへばりついていて、10:55 分メンバー 13 人が無事山頂に立った。360 度の視界に浅間山の山頂が手に取るように見え、振り向けば第 1 外輪山の牙山、黒斑山、蛇骨岳、仙人岳の荒々しい岩峰を間近に望む事ができた。もやっていて遠望はあまりすぐれないが北に孺恋の町並みなどが見える。風も弱く薄日の差す絶景の山頂で集合写真を撮るとすぐ後からくる登山者に場所を譲って下山した。下りの道は景色を見る余裕もあって快調だった。火山館で先に下山した二人と合流し昼食を野外のテーブルで摂り、鼻歌気分ですぐ後からくる登山者に場所を譲って下山した。3 時丁度に浅間山荘駐車場に到着、整理体操をして車中の人となった。温泉入浴の予定をしていたが入らずに帰りたいという希望が過半数を超えたので取りやめた。関越道で渋滞に遭遇、しかし車中は掛け合い漫才のような、にぎやかさで退屈はなかった。2 日間、十分に楽しめた山行だったと思う。スタッフのみなさん、参加者の皆さん。ドライバーさん、ご協力に感謝します。

